

第2期 神戸市国民健康保険保健事業実施計画 (データヘルス計画) 概要版

1. データヘルス計画とは

特定健診やレセプト情報から被保険者の健康課題を分析し、P D C Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画（データヘルス計画）です。

第2期計画は、平成30年度から平成35年度までの6年間が対象です。

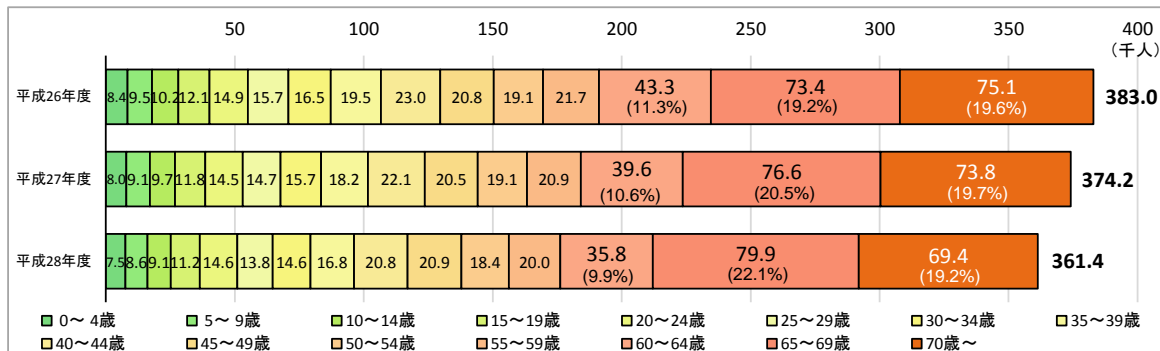
※P D C Aサイクル: Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の4段階を繰り返すことで、事業を継続的に改善することをいいます。

2. 神戸市国民健康保険の状況

<国民健康保険被保険者数の推移>

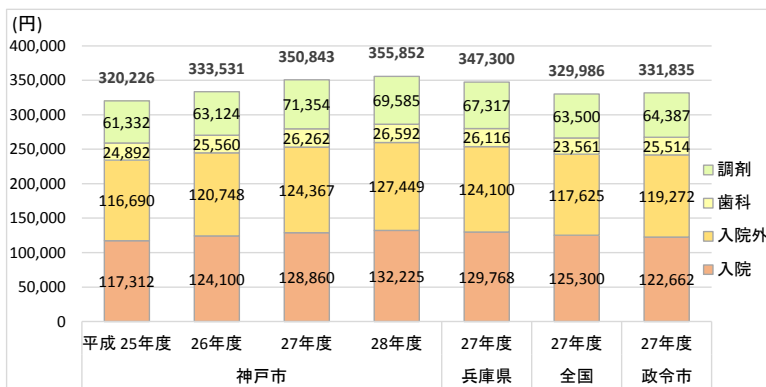
神戸市国民健康保険の被保険者は、60歳以上の方が多く、またほとんどの年代で被保険者数が減少する中、65～69歳では増加傾向にあります。

今後も65歳以上の被保険者の割合は増加すると推測されます。



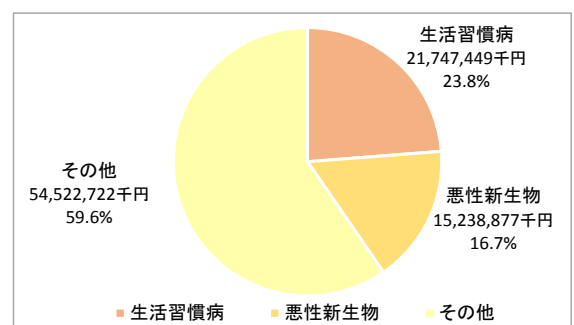
<医療費の状況>

神戸市の被保険者1人当たりの年間医療費は、年々増加しています。この金額は兵庫県、全国及び政令市平均と比較しても高い水準にあります。



<生活習慣病・悪性新生物の状況>

医科医療費に占める生活習慣病・悪性新生物の割合



医科医療費（歯科・調剤を除く）に占める生活習慣病や悪性新生物（がん）の割合は医療費全体の4割以上をも占めます。また、生活習慣病の医療費で多いのは、高血圧性疾患・脳血管疾患・糖尿病です。【⇒課題3】

人工透析のレセプト件数の推移及び糖尿病、糖尿病合併症の状況

<人工透析の状況>

人工透析患者のうち約 45%の方が糖尿病です。また、糖尿病患者の 0.9%が、人工透析を受けています。【⇒課題 4】

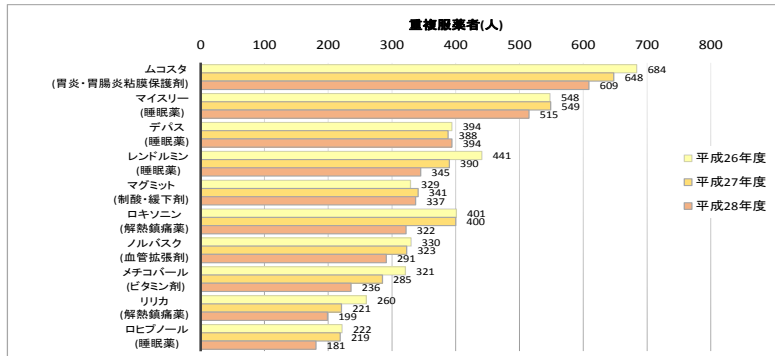
	1ヶ月のレセプト件数 (A)	人工透析		人工透析のうち糖尿病割合		糖尿病		糖尿病合併症									
		レセプト		割合 (%)		レセプト		割合 (%)		人工透析		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
		件数 (B)	(B/A)	(D/B)	(E/B)	件数 (C)	(C/A)	件数 (D)	(D/G)	件数 (E)	(E/G)	件数 (F)	(F/G)	件数 (G)	(G/G)		
平成26年6月	287458	776	0.3%	42.8%	40458	14.1%	332	0.8%	3499	8.6%	3385	8.4%	1752	4.3%			
平成27年6月	281750	883	0.3%	39.3%	39629	14.1%	347	0.9%	3221	8.1%	3205	8.1%	1654	4.2%			
平成28年6月	275659	796	0.3%	44.7%	39518	14.3%	356	0.9%	3049	7.7%	3094	7.8%	1602	4.1%			

重複服薬者推移

<重複服薬の状況>

複数の医療機関から同一成分の医薬品を 14 日以上処方されている患者数は、睡眠薬(マイスリー、デパス、レンドルミン、ロヒプノール)が最も多く、血管拡張剤(ノルバスク)も 300 人以上います。

【⇒課題 5】



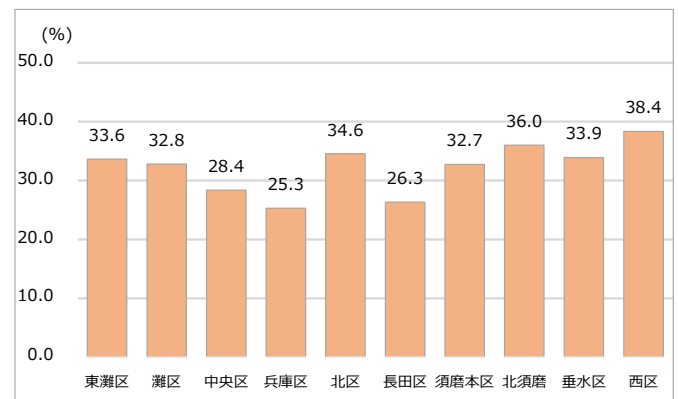
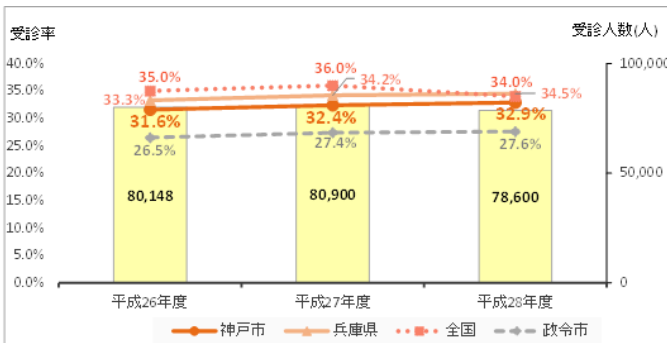
特定健診受診率の推移

<特定健診の状況>

平成 28 年度の特定健診の受診者数は 78,600 人です。受診率は 32.9%で、年々増加しています。受診率は、全国と兵庫県をやや下回っていますが、政令市は上回っています。

ただし、国が定める受診率の目標値 (60.0%) には達していません。

区別の特定健診受診率



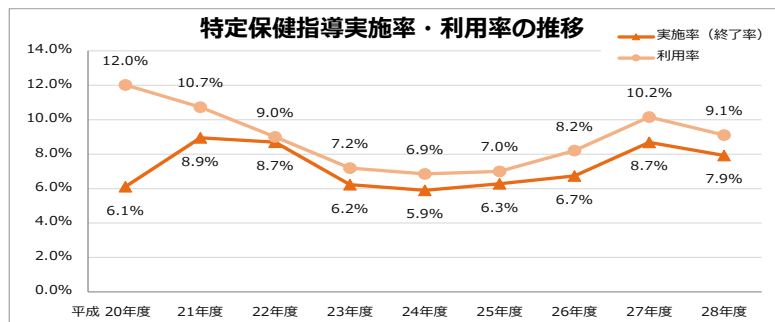
特定健診の受診率は区間差が大きく、最も高い西区は 38.4%、最も低い兵庫区は 25.3%となっています。

受診率の低い兵庫区・長田区・中央区は、西区と比べて 10%以上受診率が低くなっています。

【⇒課題 1】

<特定保健指導の状況>

特定保健指導実施率・利用率の推移



特定保健指導の実施率は、平成 24 年度から平成 27 年度までは増加傾向にありましたが、平成 28 年度は 7.9%で、前年度をやや下回りました。これは全国 (20.2%)、兵庫県 (17.3%)、政令市 (13.6%) のいずれも下回っています。

【⇒課題 2】

3. 神戸市国民健康保険の健康課題及び対策

課題 1 特定健診受診率の更なる向上

- 特定健診の受診率は、32.9%（平成 28 年度）で政令市平均を上回るが、全国・兵庫県より低い。また、特定健診の受診率は、世代差及び区間差が大きい。

対策 1 特定健診の受診率向上

- 利便性の高い健診会場・時間帯の設定、特定健診・がん検診・結果説明・特定保健指導を同日に受けられるセット健診の拡大
- 効果的・効率的な未受診者勧奨対策の強化
未受診者の実態把握・分析による受診勧奨対象者の選定
- 地域特性を踏まえた受診勧奨
特定健診受診率が低い兵庫区・長田区等での重点勧奨（平成 30 年度～）
保健センターや地域関係機関の協力等による受診啓発の強化
- 特定健診受診者のうち希望があった者に対するインセンティブ付与（大腸がん検診無料券・はりきゅうマッサージ割引券）の継続実施
- 65 歳の特定健診受診者に対するフレイルチェックの継続実施

課題 2 特定保健指導実施率向上対策の強化

- 特定保健指導の実施率は、7.9%（平成 28 年度）で、全国・兵庫県・政令市平均を大幅に下回っており、区間差も大きい。

対策 2 特定保健指導実施率向上

- 特定保健指導を受けやすい環境づくり
セット健診の拡大
健診当日や結果説明会での特定保健指導の実施（平成 30 年度～）
- 特定保健指導実施率の低い地域及び兵庫区・長田区での地域特性を踏まえた勧奨

課題 3 生活習慣病重症化予防

- 医療費の 4 割超を生活習慣病・悪性新生物が占める。
- 高血圧症・糖尿病・脳血管疾患・虚血性心疾患の患者数は、30 歳代から増加し、60 歳以降で急増している。
- 喫煙率は 40 歳代が最も高く、区間差も大きい。

対策 3 生活習慣病重症化予防対策の強化

- 特定健診結果で医療機関受診が必要な者に対する受診勧奨の強化
- 30 歳の国保加入者に対する健康診査の実施（平成 30 年度～）
- 健康ライフプラザを拠点にした健康教室等の開催（平成 30 年度～）
- 戦略的な禁煙啓発の実施
- ICT の活用による健康づくりを支援する「KOBE 健康くらぶ」※への参加勧奨
※健康データを活用した ICT による保健指導、健康活動に対する健康ポイントの付与等ができる仕組み

課題 4 人工透析患者の減少

- 人工透析患者のうち、約45%が糖尿病の治療中である。
- 糖尿病患者のうち人工透析を受けているのは0.9%である。
- 特定健診受診者で慢性腎臓病リスクのある者の割合は、微減傾向にある。

対策 4 人工透析対策の更なる推進

- CKD（慢性腎臓病）重症化予防として特定健診結果で腎機能低下のハイリスク者に対する保健指導・受診勧奨を継続実施
 - 糖尿病性腎症重症化予防として、レセプトにより抽出した糖尿病治療中断者、特定健診結果で糖尿病のハイリスク者に対する保健指導・受診勧奨を継続実施
 - 平成29年度に実施したSIB※の手法を活用した糖尿病性腎症重症化予防事業の評価（平成30年度・31年度）により、効果的な保健事業の実施方法等を検討
- ※SIB（ソーシャルインパクトボンド）は、民間資金を活用した成果連動型委託事業のこと

課題 5 重複多受診者対策

- 重複受診者数は、糖尿病、睡眠障害、高血圧症の順に多い。
- 複数の医療機関から同一成分の医薬品を処方されている重複服薬者は、依存性など身体への影響が懸念される睡眠薬（マイスリー・レンドルミンなど）が一番多く、血管拡張剤（ノルバスク）も300人以上あった。

対策 5 特に重複服薬者対策についての効率的・効果的な保健指導の実施

- 重複服薬者を中心とした保健指導の実施

地域包括ケアに係る取組み

65歳以上の加入者が多く、介護保険サービスを利用する被保険者が相対的に多いという国民健康保険の特性を踏まえて、保健所・介護保険課等との連携を図り、地域の健康課題の解決に向けて、国保加入者の健康課題や健診結果・医療データなどの統計情報の共有、フレイルチェックの実施によるフレイル予防の啓発などにより、地域包括ケアの推進を図る。

神戸市国民健康保険では、
国保加入者の健康増進、健康寿命の延伸、
その結果としての医療費適正化を目指し、
保健事業を推進しています。

第2期 神戸市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）概要版
神戸市保健福祉局高齢福祉部国保年金医療課

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 電話：078-331-8181（代表）